

教科名

道徳科

主題名・単元名

よく考えて「どんどん橋のできごと」

めあて

ICT 機器利用のねらい

「ぼく」がどんな思いから迷っているのかを可視化できるようにする。



【本時の流れ】

1. よくないと分かっているながらやってしまった経験を振り返り、その時の気持ちを思い出すことで、節度を守れていない現状に気付く。
2. 誘われたことをやるかやらないかで悩んだ「ぼく」の気持ちを考える。
3. 結局やってしまった「ぼく」の気持ちを考える。
4. 振り返り（周りに流されずによく考えて行動できた経験を振り返り、その時の気持ちを思い出す+本時の学習で考えたこと）

ICT を使ったことで、それぞれが考える「ぼく」の気持ちを可視化できた。



振り返り

- ・ハートマークを動かすことで、全員が自分の意見を持つことができた。また、友達がどんな考えを持っているかなどが視覚的に分かり、全員に共有できた。気持ちの迷いを考えるときなどにこの方法を使うとよいと思った。
- ・今回は発表ノートを用いて気持ちの視覚化を行ったが、ポジショニングでも有効だと思う。ポジショニングを用いれば自分の考えの変容もわかるため、題材によってはそちらのほうが有効であると考えられる。